

「企業の存在意義」追求のシナリオ

<背景>

- ・新たな経営の価値観、理念やプライオリティ付けに、多くの経営者が悩んでいる
- ・社会にとって有用な価値を創出し、提供することが企業の存在意義

<ねらい>

- ・経営の思想として位置付け、新たな時代の価値観を提唱
 - 企業が目指すべき方向、発揮すべき価値など、高いレベルで企業理念の具現化
 - 組織全体の総合力を高め、イノベーションの継続性、再現性の確立
 - 社会価値や人間価値と両立させながら、自社の経済価値を高める
- ・企業が提供する価値により、社会がどんどん良くなっていくような理想的な企業のあり方を追求
 - 責任を果たす姿勢ではなく、品位、品格、思想など幅広い価値観に展開
 - 個人の自己実現と組織の成功を両立

<何を>

- 企業品質の追求**
企業の存在価値を、ビジネスから創出される経済価値だけでなく、その企業が生み出す社会価値や人間価値も最終目標とし、高いレベルで実現していく経営に取り組む
- 社会価値と経済価値を一致させるための志とリーダーシップ、イノベーション能力をあわせ持ち、リスクをとって社会価値に挑み、長期的経済合理性を生み出すイノベーションを起こす

<誰が>

- 経営者および社員
 - 高いレベルのイノベーション力(知識創造力)と社員のビヘイビア(行動・意識)

<どうする>

- 「経営者の信条・哲学」、「社員の価値観」、「社員の意欲」が交じり合ったエネルギーを燃焼
- 社会価値を信ずる志
- 活動継続のリーダーシップ
- 理念の現場への浸透
- 動機付け
- トレードオフを解決するイノベーション

<アウトプット>

- 企業品質を徹底的に追求し、コアバリューを確立
Philosophy、 Culture、 Employability
Business Creation、 Governance、 Kindness

<展開>

- ・社内
社員のValue創出活動展開
- ・社外
お客様企業への働きかけ

<成果>

- ステークホルダーの期待に応えつづけるとともに、ステークホルダーに支えつづけられるサステナブル企業